



Press release

1/2

Sep.04
2017

ネオスの食事画像認識 AI 技術がand factoryが推進する IoT×ヘルスケアプロジェクトとの連携を開始

～IoTとAIの融合による快適で豊かなライフスタイルの実現を目指す～

and factory 株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役 CEO：小原崇幹、以下 and factory）は同社が推進する IoT×ヘルスケアプロジェクトにおいて、ネオス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：池田 昌史 以下ネオス）の食事画像認識 AI 技術との連携を開始しました。本プロジェクトでは、スマートフォンのカメラで撮影した食事画像データからメニューを特定し、摂取カロリーや栄養素を自動認識するために必要となる AI 技術の領域をネオスが担い、またあらゆるデバイスをインターネットやセンサーと接続させることで自動化させる IoT 分野を and factory が担うことで、豊かなライフスタイルを送るための「IoT×ヘルスケアサービス」の実現に向けて協力していきます。



モバイル、インターネットサービスを手掛けるネオスは、創業以来一貫してヘルスケア&メディカル分野に注力しており、ダイエットやヘルスケアの Web サービスやモバイルアプリの企画開発などを行っております。今回連携することとなった食事画像認識 AI 技術は、同社が独自で開発したディープラーニングを活用することで複数のオブジェクトを同時に認識可能とする画像認識エンジンです。写真に複数のオブジェクトが存在する場合、これまでの技術では認識したいオブジェクトの範囲を指定する等の操作を必要としておりましたが、本エンジンはAIが自動認識するため写真を撮影するだけで認識が完了いたします。日常よく行われる食事のレコーディングから今後は洋服のコーディネートまで、生活に密着したさまざまな活用方法を検討し、住居者に寄り添い快適で便利な暮らしを提供するサービスを目指します。

一方 and factory は IoT を活用した事業を積極的に推進しており、2016年8月19日には福岡市にて近未来の生活を体験できる最先端デバイスを1カ所に集結させた日本初のスマートホテル「&AND HOSTEL」^{※1} をプロデュースしました。客室に設置されたあらゆる IoT 製品をひとつのアプリから操作、制御するプラットフォームアプリ「&IoT」を起点に、あらゆるシーンで IoT 体験が可能で、部屋自体がエンターテインメント空間となり、宿泊体験を観光目的の一つとして楽しめる宿泊施設です。第1号店に続き、2017年4月に東京・浅草北エリアに2号店を、5月に東京・上野エリアに3号店をプロデュースし、IoT体験ができる宿泊施設を今後も日本全国に増やしていきます。

こうした背景を踏まえ、ネオスとand factoryは両社の強みとする「人工知能(AI)」と「最先端のIoT技術」に関する知見、ノウハウを融合させることにより、双方の技術・ソリューションの強みを存分に発揮いたします。

本件に関するお問い合わせ先



Press release

2 / 2

Sep.04
2017



本技術が採用されたアプリの画面イメージ

※1「&AND HOSTEL」は and factory 株式会社の商標または登録商標です。

※ 記載されている社名、製品名、ブランド名、サービス名は、すべて各社の商標または登録商標です。

ネオス株式会社について

所在地：〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館

代表者：代表取締役社長 池田 昌史

設立：2004年4月

URL：http://www.neoscorp.jp/

事業内容

- ・エンタープライズソリューション事業：社会や企業の様々なニーズに対応したICTサービスの提供
- ・テクノロジープラットフォーム事業：技術力を基盤としたアプリケーション、プラットフォーム提供
- ・コンテンツサービス事業：個人から企業、団体まで幅広く様々なコンテンツサービスを提供

and factory(アンドファクトリー)株式会社について

所在地：〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-6-28 住友不動産青葉台タワー1F

代表者：代表取締役CEO 小原崇幹

設立：2014年9月

URL：http://andfactory.co.jp/

事業内容

スマートフォン用アプリやウェブビジネス・ウェブサービスの開発、IoTを活用したプラットフォーム開発・提供

本件に関するお問い合わせ先